

議案第65号関連資料

令和5年度明石市一般会計補正予算（第4号）について

季節性インフルエンザについては、コロナ禍において、新型コロナウイルス感染症との同時流行が懸念されてきました。特に高齢者はどちらに感染しても重症化するリスクが高いことから、一人でも多くの方に予防接種を受けてもらえるよう、本市では、令和2年度より高齢者インフルエンザ予防接種費用の一律無料化を行ってきました。

新型コロナウイルス感染症は、本年5月に感染症法による位置付けが5類へ移行したものの、疾患の特徴や感染力はこれまでと同様であり、市内の多くの医療機関がコロナ対応を行っている中、移行後初めての季節性インフルエンザ流行シーズンを迎えます。新型コロナウイルス感染症の感染拡大が始まってからの2シーズンは季節性インフルエンザの流行がなく、人々の免疫が低下していることもあり、今シーズンは大流行する可能性があると言われていています。

このようなことから、インフルエンザに感染した場合に重症化リスクの高い高齢者の命を守り医療機関の負担を軽減するため、今年度も高齢者インフルエンザ予防接種費用の一律無料化を行い、必要な経費について下記の内容で不足額を補正予算として計上するものです。

1 内容

(1)接種対象者

- 満65歳以上の明石市民
- 満60歳以上65歳未満の明石市民であって、心臓、じん臓、もしくは呼吸器の機能またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障害を有し、当該疾病単独で身体障害者手帳1級相当の方

(2)接種期間

令和5年10月1日（日）～令和6年1月31日（水）

(3)自己負担額

なし ※当初予算は、自己負担1,500円（市民税非課税世帯、生活保護世帯は無料）

2 補正要求額

委託料 97,000千円（≒243,072千円－146,400千円）

〈積算根拠〉

一律無料化により見込まれる令和5年度接種者数49,820人、接種率62.2%（令和3～4年度平均接種率）から、必要経費を243,072千円と見込み、当初予算額146,400千円との差額97,000千円を補正要求額とします。

＜参考＞

年度別実績	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
対象者数	78,479人	78,612人	79,812人	80,036人
接種者数	40,143人	55,048人	48,479人	51,007人
接種率	51.2%	70.0%	60.7%	63.7%

※平均接種率62.2%